ver.1　2026 年 9 月 15 日作成

新潟県立がんセンター新潟病院　オプトアウト書式

①研究課題名	免疫ペプチドミクスによるがん種横断的な抗原スクリーニングと反応性 T 細胞解析
②対象者及び対象期間 研究対象者は、18 歳以上のがん患者 対象期間は、実施許可日から 2030 年３月 31 日まで	
③概要 この研究に参加して頂くと、患者さんの組織や末梢血といった臨床検体に由来する試料と臨床情報を研究に使用します。患者さんの検査あるいは治療など通常診療の際に採取した組織の一部を使用しますので、試料採取のために別途お時間を頂くことはありません。30ml 程度の採血をお願いすることがあります。採血は病院内で実施し所要時間は５分程度です。通常検査の採血と同じですので特別な危険性はありません。 患者さんから得られた試料をもとに、がん抗原や免疫細胞などを含む免疫システムの状態を検査していきます。がん抗原とは、がん細胞に存在し、患者さんの免疫システムががん細胞と正常細胞を見分けるための目印になるものです。がん抗原は患者さん毎に異なると予想されますので、多くの患者さんを対象に、患者さんの免疫細胞がどのようながん抗原に反応しているかを調べます。検査にはがん細胞や免疫細胞の遺伝子の状態を調べる検査も含まれます。	
研究に協力するかどうかは、あなたの自由意思で決めて下さい。また、一旦研究協力に同意された場合でも、いつでも取り消すことができますので、担当者にご連絡下さい。その場合は採取した血液等の試料や情報の結果は廃棄され、診療記録もそれ以降は本研究のために用いられることはありません。ただし、どれが誰のものか判らないように匿名化されてしまっている場合には、廃棄することができません。また、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、その結果を廃棄できないことがあります。研究に協力されてもされなくても、同じように最善の医療を提供いたします。試料提供をしないことによって、あなたが不利益な対応を受けることは決してありません。	
④研究の目的・意義	患者さんのがん組織に含まれているがん抗原の種類を調べ、新しいがん免疫治療の実用化
⑤研究期間	実施許可日から　2030 年　３月　31 日まで
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究で得られた試料と情報および研究結果を共同研究機関あるいは外部の委託機関に提供し、解析することがあります。また研究データを公共データベースなどに登録することがあります。研究の結果を学会や論文あるいは医学雑誌などで発表する可能性があります。いずれの場合も、あなたの個人情報（名前や住所、電話番号など）に係わる情報を切り離して匿名化した状態で使用しますので、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。 本研究で得られたデータは、公衆衛生の向上に貢献する他の研究を行う上でも重要なデータとなるため、データを公的データベース（あるいは：情報・システム研究 機構 データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター（DBCLS）が運用するデータベース）に登録し、国内外の多くの研究者と共有します。将来、どの国の研究者がデータを利用するか現時点ではわかりません。しかし、どの国の研究者に対しても、日本国内の法令や指針に沿って作成されたデータベースのガイドライン等に準じた利用が求められます。

⑦利用または提供する情報の項目	利用または提供する試料・情報は、採取されたがん組織と血液のほか、検査データ、診療記録，遺伝子解析結果など
⑧研究組織および利用する者の共同研究機関	新潟県立がんセンター新潟病院および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟県立がんセンター新潟病院　病理診断科　研究部長　川崎　隆 共同研究機関：新潟大学医学部分子病理学分野　教授　金関　貴幸
⑨試料・情報の管理について責任を有する者	病理診断科　研究部長　川崎　隆 共同研究機関：新潟大学医学部分子病理学分野　教授　金関貴幸
⑩お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします. 所属：病理診断科 氏名：川崎　隆 〒951-8566　新潟県新潟市中央区川岸町２丁目 15 番地３ TEL：025-266-5111
⑪研究代表者	施設名：新潟大学医学部分子病理学分野 氏名　：金関　貴幸 連絡先：025-227-2102